

(表紙)

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

## 災害に強いまちづくり計画

北海道 幕別町

令和2年11月

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成30年12月27日

計画の名称	1 災害に強いまちづくり計画					重点配分対象の該当	-										
計画の期間	平成27年度～平成31年度		交付対象	幕別町													
計画の目標	<p>本町は、地震の多発地帯である北海道東部・十勝地方のほぼ中央に位置し、昭和27年に発生した十勝沖地震(M8.2、震度6)をはじめ、近年では平成5年の釧路沖地震、平成15年の十勝沖地震など、住民生活に大きな影響を及ぼす地震が度々発生している。このような状況から、平成18年2月に「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」に基づく推進地域に指定されている。</p> <p>また、平成21年3月に幕別町耐震改修促進計画を策定し、一定規模以上の建築物や避難所を中心とした公共建築物の耐震化に取り組んでいる。具体的には、平成15年発生した十勝沖地震により、柱のせん断破壊による被災を受けた役場本庁舎の建替え(平成26、27年度)や、避難所に指定されている小・中学校の耐震改修を進めており、防災拠点施設の耐震化が喫緊の課題となっている。</p> <p>この他、北海道防災会議地震火山対策部会地震専門委員会における「減災目標策定に関するワーキンググループ中間報告書」によると、本町を含めた十勝管内については十勝平野断層帯主部の地震(M7.4)により最大震度が7と想定され、多くの建物被害や人的被害、断水といったライフライン被害などが想定されているため、耐震性貯水槽や備蓄倉庫、災害時の緊急活動を支援するための道路整備など、防災機能の充実が課題となっている。</p> <p>このため、避難所を中心とした防災拠点施設の耐震化と緊急活動の円滑化、ライフラインの確保など、防災機能の充実により災害に強いまちづくりを目指すものである。</p>																
計画の成果目標（定量的指標）	<p>①災害時における指定避難所の避難者の収容人数を519人から654人へ増加させる。</p> <p>②指定避難所の耐震化率を96.88%（H27）から100.00%（H28）へ増加させる。</p> <p>③災害時における上水道区域内の必要応急給水量に対して、整備する耐震性貯水槽の容量でカバーできる割合を0.0%（H27）から52.38%（H31）へ増加させる。</p>																
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考										
	番号	定義及び算出式	当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (備考を参照)												
	①	①指定避難所の計画収容面積における収容可能人数を算出する。 当初現況値:1,039㎡(現況収容面積)÷2㎡(一人当たりの必要面積)=519人 最終目標値:1,309㎡(計画収容面積)÷2㎡(一人当たりの必要面積)=654人 > 628人	519人	-	654人												
	②	②幕別町における指定避難所に対する耐震化率を算出 耐震化率=耐震化済みの指定避難所数(新耐震基準の建築物を含む)÷指定避難所数 当初現況値:31÷32= 96.88% 最終目標値:32÷32=100.00%	96.88%	-	100.00%												
	③	③災害時における上水道区域内の必要応急給水量に対する耐震性貯水槽の整備容量でのカバー率を算出 耐震性貯水槽の整備容量でのカバー率=耐震性貯水槽の整備容量÷必要応急給水量(%) 必要応急給水量:23,512人×3ℓ/人・日×3日=211,608ℓ=210m <sup>3</sup> 最終目標値:(50m <sup>3</sup> +60m <sup>3</sup> )÷210m <sup>3</sup> =52.38%	0.00%	-	52.38%												
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	873.2 百万円	A	873.2 百万円	B	0.0 百万円	C	0.0 百万円	D	0.0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%					
事後評価																	
○事後評価の実施体制																	
事後評価の実施体制																	
幕別町																	
事後評価の実施時期 令和2年度																	
公表の方法 幕別町のホームページ上にて公表																	
交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
A13-001	防災	北海道	幕別町	直接	幕別町	札内地区都市防災総合推進事業	避難所整備 A=1,719㎡のうち1,196.98㎡ 耐震性貯水槽N=2基 備蓄倉庫整備2棟 道路整備L=601m	幕別町	H27	H28	H29	H30	H31	873.2	-	-	
合計													873.2				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31	0			
合計													0				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31	0			
合計													0				
D 社会資本整備円滑化地積整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31	0			
合計													0				

2 事業効果の発言状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性貯水槽整備により、災害時において、多くの町民に対する緊急的給水対応を可能にすることができた。</li> <li>・指定避難所の整備により、すべての指定避難所の耐震化を行うことができた。</li> <li>・指定避難所の整備により、災害時に多くの町民の安全・安心に繋げる場所を確保することができた。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標① 指定避難所の計画収容面積における収容人数	最終目標値	654人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	654人		
	指標② 幕別町における指定避難所に対する耐震化率	最終目標値	100.00%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100.00%		
	指標③ 災害時における上水道区域内の必要応急給水量に対する耐震性貯水槽の整備容量でのカバー率	最終目標値	52.38%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	52.38%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記載)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害備蓄倉庫整備の整備により、災害時に多くの町民に提供する備蓄品を保管を可能にすることができた。</li> <li>・避難路の整備により、円滑な避難及び災害活動を可能にすることができた。</li> </ul>			
3 特記事項(今後の方針等)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性貯水槽: 今後は設備の維持管理と整備の活用に重点を置いていく。</li> <li>・防災備蓄倉庫: 避難者への迅速な物資提供のため、資機材等の充実を図る。</li> <li>・指定避難所: 札内地区の防災活動拠点として、防災訓練やAED訓練などを行う際に活用し、地域防災の定着化を図り、地域防災力を強化していく。</li> </ul>					

(参考図面) 都市防災総合推進事業

計画の名称	災害に強いまちづくり計画	交付対象	幕別町
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度		

現況図

